

我がまちな きらめき

3月15日(木) 15:00~20:00

場所:イトーヨーカドー茅ヶ崎店前広場
(茅ヶ崎市新栄町11-8)

① **パネル展示**

わがまち茅ヶ崎の地産地消について

② **地産地消クイズ**

全問正解者には先着順 200 名にえぼし岩産わかめ佃煮プレゼント

③ **ミニ講演会**

三翠会代表 鈴木國臣様 (18:00 ~ 予定)
講演内容 「我がまちの農業の現状と地産地消について」
講演参加者先着 100 名にタゲリ米プレゼント

④ **無料炊出し**

地元の特産品をつかった御味噌汁を食べてください! (18:00 ~)



主催:公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 後援:三翠会/茅ヶ崎市/さがみ農業協同組合 茅ヶ崎営農センター/一般社団法人茅ヶ崎市観光協会

お問合せ:公益社団法人茅ヶ崎青年会議所

茅ヶ崎 J C 検索

〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町13-29 茅ヶ崎商工会議所内 TEL.0467-85-0212(月/水/金13:30-16:00) FAX.0467-86-6663 URL <http://www.chigasaki-jc.com> E-mail info@chigasaki-jc.com

- 青年会議所(JC)とは 明るい豊かな社会を実現するために、時代の担い手としての自覚と責任感を持った20歳から40歳までの青年経済人で構成され活動する団体です。
- 参加メンバー 世界 110NOMs 4552LOMS 約17万人 / 日本国内 701LOMS 約4万人 / 茅ヶ崎JC 74人 出身者400名以上
(2010年11月現在) (2012年1月現在)
- 取組テーマ 環境政策
経済政策 政治・行政政策 教育政策 福祉政策 国際政策 NPO連携 等の社会の役に立つテーマです。活動 例会・委員会・各自事業等の運営・企画・実施 青年会議所は世襲経営者のサロンクラブでも、単に社会奉仕を行う団体でもありません。より良き明日をめざして地域社会・国家・全世界のために、常に進歩への挑戦を行う、理想と具体的かつ総合的な施策を持った青年指導者の運動です。
- 公益社団法人 茅ヶ崎青年会議所とは
茅ヶ崎・湘南地区を活動エリアとしています。現在の会員数は74名。さまざまな業種の社会人が各自の目標を持って活動をしています。
- 入会資格
茅ヶ崎に居住または勤務している満20歳から40歳未満の方。人種・国籍・性別・職業・宗教・思想の別なくご入会できます。
- 入会のすすめ
皆さんが日常生活、社会生活の中で「何かやりたい・やってみよう」と思ったときに、現在は様々なNPOや団体があります。その中でも(公社)茅ヶ崎青年会議所は、地域のために、常に時代に即した運動を推進しています。活動の場は、茅ヶ崎地区をベースにしていますが、本人次第で、国、世界へと広がります。所属しているメンバーの属性も多様ですから、多くの出会いから、更なる自己向上の場にもなります。私達は、青年会議所を半世紀の歴史をもった、青年経済人の素晴らしい活動の場ととらえています。「何か活動をしてみたい」と思う方は、ぜひ一度活動を見にいらしてください。

*興味をいただいただけでしたら、ホームページをぜひご覧ください。私達の様々な活動の一端がご覧いただけます。

近年の活動

オモイヤリビレッジ

なんでも朝市会場内にて、市内の中学生が「創作朝ごはん」の屋台を出します。中学生が、地域の皆さんと企画・運営をする屋台村です。市内の中学生が地域参加を通して、人との繋がりを知り、人のために行動する、思いやりの心を育む事業です。事業の売上金は東日本大震災の被災地支援に使いました。(その使い道も、中学生達が考えました。)



未来`手、想図

特殊インクで手形を取り、目印等を記載して頂きます。タイルに焼きつけられた手形は、サザンビーチちか道に飾られます。このまちを担う、青少年が未来においてもずっとこのまちを誇りに思い、愛する心を持ち続けられますように…。



まちに誇りと愛情を育む運動

2011年8月20・21日に市内小学生に対し、このまちに誇りと愛情を育んでいただき我がまち茅ヶ崎をもっと知ってもらい好きになって欲しいとの想いから2007より、学童保育を対象に3年間続けてきた座学を展開する事業を昨年より、そんな想いを更に分かりやすく伝えるために、キャンプという手法で展開する方向転換をした2年目の事業を開催しました。



地産地消の取組

2011年6月4・5日の二日間に渡り市内チャリティイベントにて、事業の一環として“地産地消”のブースを出展しました。地産地消運動を通じて、「わがまち茅ヶ崎が少しでも豊かになればいい」そんな願いを込めての出展いたしました。今回スポットを当てたわが街の宝物は「えぼし岩で採れたわかめ」初めて食する方が殆どで改めてわがまちの海の素晴らしさを感じて頂けました。

